

主催：日本フィッション・トラック研究会

協力：ESR 応用計測研究会

共催：筑波大学西アジア文明研究センター

ルミネッセンス年代測定研究会

<http://rcwasia.hass.tsukuba.ac.jp/kaken>

第37回 日本フィッション・トラック研究会

共通テーマセッション

考古学との連携

日時：2013年2月24日（日） 9:00 - 16:30

（2月23日（土）13:00 - 17:00 通常セッション）

会場：筑波大学総合研究棟 A110 号室

（茨城県つくば市天王台 1-1-1 大学循環バス「大学中央」バス停下車すぐ）

プログラム

- 9:00 - 9:15 趣旨説明（安間了：FT 研究会長）
開催の挨拶（常木 晃：西アジア文明研究センター代表）
- 9:15 - 10:00 横山 祐典（東京大学）人類紀の環境変動復元と年代測定法
- 10:00 - 10:45 檀原 徹（京都 FT）考古学への FT 法の応用と可能性
（質疑応答・休憩）
- 11:00 - 11:35 田上 高広（京都大学）・山田 国見（日本原子力機構）(U,Th)/He 年代学の現状と考古学への応用
- 11:35 - 12:05 坂田 周平（京都大学）第四紀ジルコンの U-Pb 年代測定 - 初生放射非平衡問題による U-Pb 法再考 -
（昼休憩）
- 13:15 - 13:50 若狭 幸（筑波大学）宇宙線生成核種を用いた地形面の年代測定
- 13:50 - 14:30 豊田 新（岡山理科大学）石英を用いた ESR 年代測定の現状と、地球表層における物質移動研究への応用
（質疑応答・休憩）
- 14:40 - 15:15 下岡 順直（京都大学）古文化財科学（考古学）におけるルミネッセンス年代測定法の利用
—インダス文明に関連した砂丘砂の OSL 年代測定—
- 15:15 - 15:30 田村 亨（産業技術総合研究所）若い海岸砂質堆積物の OSL 年代
- 15:30 - 16:05 南 雅代（名古屋大学）骨試料の年代測定
- 16:05 - 16:30 ディスカッション

後援：科学研究費補助金「新学術領域研究（研究領域提案型）」
現代文明の基層としての古代西アジア文明
—文明の衝突論を克服するために—